

The Japan Interior
Designers Association
Monthly Report
No.239
Jan, Feb, Mar, 2008

JID news

JID月報：通巻239号
平成20年1月・2月・3月号
発行日：平成20年3月31日

発行：(社)日本インテリアデザイナー協会
〒163-1008 東京都新宿区西新宿3-7-1
新宿パークタワー8F
電話 03-5322-6560 FAX 03-5322-6559
発行人：川上玲子

社団法人日本インテリアデザイナー協会

目次

巻頭：

JID 創立50周年記念特別参加事業

テーブルウェア・フェスティバル2008	2
JID創立50周年記念事業実行委員会報告	2
平成19年度 第5回理事会報告	4
本部報告(国際委員会)	6
// (総務委員会)(選考委員会)	7
支部活動報告(九州事業支部)	8
// (中部事業支部)	9
// (関西事業支部)	10
// (関東事業支部)	12
PUBLICITY EDITION	14
新会員紹介	15

事務局からのお知らせ 15

Tableware Festival 2008

JID 創立50周年記念特別参加事業



高円宮妃殿下も興味を示された テーブルウェア・フェスティバル2008/JIDブース “暮らしの原点～Japan Spirits～”

理事長 川上 玲子



テーブルウェア・フェスティバル2008
暮らしを彩る器展
会期：2008年2月2日～10日
会場：東京ドーム

オフィシャルオープニング当日は、正副理事長で高円宮妃殿下をお迎えいたしました。会場視察の限られた時間の中、JIDブースでは興味深くひとつひとつご覧頂き質問されたり、時間を忘れてしまいそうとお話をされながら楽しんで頂くことが出来ました。

次ページへ

JID 創立50周年記念特別参加事業
「テーブルウェア・フェスティバル2008」
高円宮妃殿下も興味を示された JID ブース

統括プロデュース：理事長 川上 玲子
トータルコーディネート：副理事長 岩倉 榮利



2月2日～10日まで行われた東京ドームにおける「テーブルウェア・フェスティバル2008」暮らしを彩る器展にJID 創立50周年記念特別参加事業として参加いたしました。JIDのブースタイトルを「暮らしの原点～Japan Spirits～」で展開、和のところに立ち戻り、海外にも提案出来る日本発信の生活空間を展示、正式にJID50の冠をつけた事業のスタートを切ったことになります。

日本全国から毎年30万人が訪れるこのイベントも今年で16回目ということもあり、インテリアのプロとしてテーブルコーディネーションの分野に刺激を与えるような空間創りを、という依頼で100m²のブースが提供されました。

JIDの企画内容に関しては前回のニュースでお知らせした通りですが、会員の喜多俊之氏、中島龍興氏、須藤玲子氏、加えてスタッフ共々協力頂いた岩倉榮利氏。また、岩倉氏のコーディネートにより参加協力頂いた外部のデザイナー、こういった方々の多大なボランティアによって実現に漕ぎ着ける事ができました。

JIDを代表して心より感謝申し上げます。

主催者であるJRの担当の方からもJIDが参加したことで例年とは違った雰囲気と質の高い空間を来場者に見てもらう事が出来たと社交辞令を差引いても喜んで頂いた結果に「JID50th」の良いスタートになったのではないかと思います。

また、雑誌、新聞等も「インテリアデザイナーらしく空間に必要なエレメントをトータルに見せた総合空間は、来場者の高い関心を集めていた」と書かれていました。

創立50周年を機に、ひとりでは出来ないこともJID会員であるメリットを生かし、社会に向けてその能力を発揮出来るチャンスを、今後もみんなで作っていく努力が必要ではないでしょうか。

室内デザイン学校委員会

委員長 山本 榛子

JID50 室内デザイン学校委員会からのお願い!

JID 創立50周年記念事業が本格的に始まりました!
JID50 室内デザイン学校委員会では、「原点」—こころのデザイナー—をコンセプトに2つの企画を展開します。

- デザイナーズトークツアー“円座(くるまど)”シリーズ
(各地域で開催)
- こども室内デザイン学校(各地域で企画中)

デザイナーズトークツアー“円座”はいわば大人の学校ともいえるもの。日本各地で展開しますが、4月は四国、6月は旭川、9月は山形、11月は福岡、そして金沢でも予定しています。

第一弾の4月初めの“円座 in 四国”では、全国の皆様と四国でお会いし、共にJID50をお祝いできることを楽しみにしています。ますますJIDの輪が広がり、面白いものになることを期待しています。

第二弾、6月の“円座 in 旭川”は下記、石井委員のご案内をご覧ください。

デザイナーズトークツアー“円座 in 旭川”のお願い!

6月27日(金)～28日(土) 担当委員 石井 静香

ラベンダーの花咲く季節、北海道在住のデザイナーの方々と共に語り合うツアーを企画しました。ご存知のように旭川は多くの家具メーカー・工房・ショールームが点在、たくさんの方々の家具デザインを見るまたとない機会です。特に今年の6月末の旭川は国際デザインイベントが盛りだくさん。コンペ優秀作品やそのデザイナーに出会うかもしれません。ツアーサプライズとして、世界的な椅子のコレクターである織田邸を見学する機会を得ました。夜には旭川デザインギャラリーにおいて、在住の小林会員、間会員を中心に賛助会員や地場産業の方々、旭川デザイン協議会、東海大学学生等など、北海道の美味しいビールを飲みながら語り合ひましょう!

翌日午後は、大人気の旭山動物園で動物達との温かいふれあいを楽しみたいと思います。オプションツアーとして白銀温泉泊、美瑛や富良野まで足を伸ばすことも計画しています。詳しくは追ってご案内する参加者募集をご覧ください!

各委員会からのメッセージ

広報委員会

委員長 吉良 ヒロノブ

意見広告イメージ(案)

創立50周年記念事業広報委員会は「意見広告」を新聞全国紙朝刊に掲載すべく、協賛金収集のために行動を始めました。

1991年にIFIで「グリーンチェックリスト」を発刊し、2000年には活路開拓事業としてJIDは「ECO INTERIOR DESIGN BOOK」を発行し、環境問題に取り組んできました。

今日、更にこの運動を広めていかなければならないと私たちは考えています。そこで企業とともに環境問題を共有し、より豊かで持続可能な社会を構築するために、新聞紙上を通して広く訴えていきたいと考えています。全国紙カラーを予定し、6社の協賛にて纏めていきたいと思っています。

意見広告

デザイナーには環境を変える力があります。環境に配慮した素材を用い、廃棄の段階までを考慮したデザインを

考え、無駄のない素材の使用、方法を考え、より良い環境をデザインし、日本の生活を文化的で豊かなものに高めていくことに貢献することができます。

そこで、私たち日本インテリアデザイナー協会はみなさまとともに意見を発し、広く社会に問い、社会をより良く変える一助になればと思います。

豊かな文化的な地球環境の構築のためにみなさまのご理解とお力添えをこころよりお願い申し上げます。

- 掲載新聞 朝日新聞または日本経済新聞の朝刊全国紙 全面予定
- 掲載日時 2008年秋
- 協賛企業 6社を予定
- 掲載内容 前記の通り(カラー)
- デザイン イメージで表示していますが、改めてデザインをいたします。また、コピーライターにも協力していただきます。

※新聞広告以外に出版物掲載の他、各事業内に商標と社名を掲示します。

出版委員会

委員長 安藤 清

2006年ワーク集の出版が撤回され50thに繰り延べされたいきさつがありましたが、既刊のワーク集的な扱いを避けた出版計画を立案し、実行委員会及び委員長会議で了承され現在企画内容を進めています。40th記念号「日本の生活デザイン」以降、展示委員会と連携を取りJID創立年(1958年)前後10年間の黎明期に、エポックとなるデザインをされた先達のデザイナーの方々の作品に発想の「原点」デザインのこころを読み取り、又50年のわが国のインテリアデザインのアーカイブとしての記録性を尊重し、またこれからのインテリアデザインの予見を含み次世代のデザイナーに引き継ぐ内容です。

しかし現会員が参加できる企画の要望もあり、当初会員の皆様へのアンケート(「原点」こころのデザイン)を含めて会員表記の方法も今後検討してまいります。

多々ご意見のなか業界の懐も考慮してリスクの少ない絞り込んだ内容を企画しています。

理事会

平成19年度 第5回理事会

(現役員・次期役員予定者合同会議)

日時：平成20年1月11日(金) 15:30～16:10

場所：社団法人日本インテリアデザイナー協会

OZONE 会議室

出席：理事長 川上玲子

副理事長 岩倉榮利、小宮容一

理事 安藤清、吉良ヒロノブ、酒井正人、
清家淳一、村口峯子、山永耕平、
山本棟子、丸谷芳正(委任出席)

監事 宇賀敏夫、川上信二

事務局長 峰尾武

<次期役員予定者>

出席：理事 安藤眞吾、小野由記子、川崎泰秀、
阪井良種、佐藤健一、中田重克
(欠席) 長岡貞夫 (以上新任)

I 次期役員予定者紹介(新任のみ)

II 報告事項

- [1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況
- [2] 平成20年度本部各委員会・各事業支部予算要求案について
- [3] 財務運営資金繰り
- [4] 会員異動状況
- [5] 次期役員予定者との意見交換及び要望(予算、組織、その他について)
- [6] 次回会議予定

III 議題

第1号議案 後援・協賛名義承認の件

第2号議案 会員入退会承認の件

第3号議案 議事録署名人選任の件

I 次期役員予定者紹介(新任のみ)

事務局長より次期役員予定者(新任)を現役員に紹介。
それぞれご挨拶をいただいた。

安藤眞吾(関西) 小野由記子(関東) 川崎泰秀(九州)
阪井良種(関東) 佐藤健一(関東) 中田重克(関東)
欠席：長岡貞夫(関東)

II 報告事項

- [1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

◆関東事業支部(村口)

1. 総務委員会・広報委員会

12月7日(金) 総務委員会 パートナース関東プロジェク

ト会議と関東広報委員会ホームページの個人ページ
説明会を合同で実施、新しい会員4名と広報委員、
パートナーズ委員を含め15名参加。

個人ページの説明、質疑応答とパートナーズ関東の
活動について意見交換、2月末又は3月初旬に「イ
ンテリアトレンドセミナー」を開催準備決定(総務委員会)。

2. 研究委員会

メディカルアメニティ・サポートプロジェクト準備進行中。

◆中部事業支部(安藤)

- 1. 12月10日～17日 “素晴らしき空間デザイン” デザイン・トリプレックス2008、12月10日 シンポジウム木部智子
会員パネラー、12月10日～11日 エキシビション、12月
12日～17日 ギャラリーで空間系7団体の紹介と会員
活動展示等実施(ナディアパーク・デザインセンター)。
- 2. 12月12日 第15回インテリア連絡会実施。
- 3. 12月17日 12月度役員会・連絡会実施。

◆関西事業支部(清家)

1. 総務委員会

11月29日(木) 平成20・21年度支部委員会開催、
次期支部長選出、9名+10名委任。

12月5日(水) 第5回運営委員会開催、本部50周年
事業、選挙管理、各委員会報告実施。

11月 大阪市都市型産業振興センター主催「この街
のクリエイター博覧会2007」関西事業支部協力、11
月～12月21日開催。

12月5日(水) 「IFI釜山」デザイン会議報告会で小宮
副理事長、塚口会員より報告。

2. 事業委員会

12月14日(金) 「日本の空間デザイン展2007」同時開
催「学生賞」審査。

12月15日(土)～21日(金) 「日本の空間デザイン展2007」
参加。

12月21日(金) 「学生賞」表彰式及び交流会開催。
学生賞結果：銀賞1点、銅賞1点、奨励賞3点、
USD-O賞1点。

3. JID-ACT kansai

JID-ACT kansai 定例会開催。

今後の予定

1. 総務委員会

2月中旬、第6回運営委員会開催予定。

2. 事業委員会

次回「企業による重点商品及び新商品説明会」開催
準備。

3. 研究委員会

「セカンドライフの住まい」研究会アンケート集計作業中。
現在 250(見込み 300 予定)。

創立 50 周年記念事業、関西事業支部第 1 回イベント企画、平成 20 年 1 月 26 日～27 日

滋賀県佐川美術館見学を中心に企画中。

5. JID-ACT kansai 定例会開催予定。

◆九州事業支部(山永)

1. 12月21日(金) 第3回役員会開催、博多クリオート「円座」にて参加 7 名。

議題 1. 第3回学生ファニチャーデザインコンテスト及び例会としての交流会開催について検討。

今後の予定

1. 50 周年事業について九州事業支部「室内学校」

11 月「円座 in 畳」(熊本伝統工芸館で開催予定)。

12 月 賛助会員とのコラボレーション(大川にて記念展覧会も同時開催)。

12 月「ウインザーチェアーの歴史」(九州産業大学美術館開催予定)。

2. 役員選挙について、開票報告及び次期役員選出。

3. 平成 20 年度事業計画、事業予算検討。

4. 平成 20 年 1 月 23 日(水)～27 日(日) 第 3 回「2007 学生ファニチャーデザインコンテスト」(アクロス福岡 1 階アトリウム) 開催予定。

「全日本インテリアデザインアワード展 '07」展示予定。

5. 1 月 26 日(土) コンペ審査及び第 3 回例会(福岡) 予定。

6. 平成 20 年 3 月、第 4 回例会を山口で計画。

◆本部総務委員会(丸谷理事委任出席のため文書にて)

1. 12 月 10 日 委員会開催、E-mail news 第 1 号「新春あけましておめでとう」を配信。

2. 2008 年 New Years & 50 周年キックオフパーティについて

1 月 11 日(金) に新宿パークタワー 1F「ギャラリー 1」にて実施予定、本部総務委員会が運営及び進行等行う、50 周年式典委員会はキックオフの演出を担当する、スライド映写及びバンド演奏手配。

◆本部国際委員会(酒井)

1. IFI 2007 釜山

10 月に開催された「IFI 2007 釜山報告会」18 名の参加で実施。会場の雰囲気良く活発なスピーチが飛び交い国際交流への関心のさざ波がたつようで、この動きを逃すことなく展開を願う。

会場：株式会社シーズアイショールーム「SMINAS」

内容：総会報告、デザインコンGRESSに参加して、

IFI Nagoya 再見、IFI APSDA における JID の立場と今後の役割、JID50 周年における国際プログラム & 総論等討議、株式会社シーズアイの紹介及び懇親会を実施。

◆本部情報委員会 インターネット(吉良)

1. 2008 JID 賞ビエンナーレ、受賞作品を 1 月中旬掲載予定。

2. JID 創立 50 周年記念事業案内を web 上に掲載。

3. 新ホームページについて、コンテンツの充実を図る、又、又、支部ページとの連携推進。

◆本部情報委員会 JID News(清家)

1. JID ニュース 238 号を 12 月末発行済み。

2. 今後の予定(JID ニュース 239 号)

2 月 5 日(火) 編集企画会議、2 月 12 日(火) 原稿エンターリー締切、2 月末原稿締切(1 次)、3 月 4 日(火) 原稿締切(最終)、3 月 18 日(火) 編集校正会議、3 月 29 日(土) 発行予定。尚 member's SALON への積極的投稿を希望。

◆選考委員会(岩倉)

2008 JID 賞ビエンナーレ展は 1 月 10 日(木)～15 日(火) OZONE 6F ロードサイドスクエアで開催、1 月 11 日贈賞式を実施。

◆事業推進(小宮)

平成 20 年度事業計画タイムテーブル案を提示。

[2] 平成 20 年度本部各委員会・各事業支部予算案要求案について

本部事業のみの提出で支部が未提出。

[3] 財務運営資金繰りについて 事務局長より報告。

[4] 会員異動状況について 事務局長より報告。

[5] 次回会議予定

1. 第 7 回 50 周年実行委員会

平成 20 年 3 月 28 日(金) 13:30～15:00

2. 平成 20・21 年度役員予定者会議

〃 15:15～16:45

3. 平成 19 年度第 6 回理事会(現・新予定者合同)

〃 17:00～18:30

議長は報告事項について了承を求め、理事会はこれを了承した。

Ⅲ 議題

◆第 1 号議案

後援・協賛名義承認の件(5件)

- 『JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム』

継続・後援

- 『第3回グルメ&ダイニングスタイルショー春2008』

継続・協賛

- 『インテリアライフスタイル』

継続・後援

- 『ファシリティマネジャー資格試験実力養成講座』

新規・後援

- 『BEST DESIGN OSAKA 2008』

新規・後援

事務局長より以上5件について説明。

議長は承認を諮り、異議なく承認された。

◆第2号議案

会員入退会承認の件(7件)

- 正会員 入会(2件)

檜山和彦(関西) 推薦人:清家淳一、安藤眞吾

古市伸子(関西) 推薦人:清家淳一、安藤眞吾

- 正会員 退会(1件)

0529 古川友貴 関西 0529

- 正会員 退会(4件)

以下定款第8条2項(4)により退会したものとみなす。

佐野進(関東) 窪田喜美子(関東)

植原豊郎(関東) 松岡茂樹(関東)

以上会員入退会について事務局長より説明。

議長は承認を諮り、異議なく承認された。

◆第3号議案

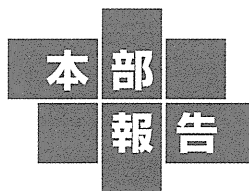
議事録署名人選任の件

議長は村口峯子、吉良ヒロノブ両理事の承認を諮り、異議なく承認された。

社団法人日本インテリアデザイナー協会 平成19年度第5回理事会に関し、定款第26条に基づき、議事経過及び議決事項を記すため、議長と議事録署名人が記名捺印する。

議長 川上玲子

議事録署名人 村口峯子、吉良ヒロノブ



国際委員会

担当理事:酒井 正人

委員長:小野 由記子

APSDA 2008 デザイン会議のお知らせ

担当理事 酒井 正人

JID の国際活動として加盟しています APSDA/ アジア太平洋空間デザイナー団体連合(現在は IFI/ 国際インテリアアーキテクト・デザイナー団体連合のアジア太平洋エリア組織として公表されています)の総会及びデザイン会議が5月20日・21日・23日の3日間、シンガポールにて開催されます。前回クアラルンプール(マレーシア)に続き、シンガポールはまさにアジアを象徴する活気あるエリアでもあり、また「デザイン」にとても力をいれている国でもあります。

国際委員会では5月20日の総会出席への代表メンバー派遣を現在準備していますが、5月21日・22日はデザインセミナーやシンポジウム、パーティーが開催され JID 会員は登録によりどなたでも参加できるプログラムが準備されますので、国際委員会では、今後の最新情報や登録情報を皆様へお伝えしていきたいと思ひます。

前回(2006年)クアラルンプールにおけるAPSDA総会・ロゴマーク



今年はJID50周年記念の1年ですが、ぜひこの機会に多くのJID会員がJID国際活動のイベントへも参加いただきアジアの活気あるデザイナー仲間と楽しんでいただければと思います。

5月21日・22日のAPSDAデザイン会議へ参加ご希望の方は4月20日までに事務局までお知らせ下さい。スケジュールや登録方法の詳細など国際委員会よりご連絡申し上げます。

(シンガポールへの渡航・宿泊手配は個人手配にてよろしくお願い申し上げます)

本部報告

総務委員会

担当理事：丸谷 芳正
委員長：井出 昭子

New Year's & JID 50th Kick off Party 2008 報告 総務委員会 委員長 井出 昭子

2008年1月11日(金)18時30分より新宿パークタワー1階 ギャラリー1にて新年を祝うとともに、協会にとって創立50周年を迎えた記念すべき2008年、様々な行事のキックオフとしてパーティが開催されました。川上理事長から、いよいよ始まるJID創立50周年記念事業への熱い思いが語られキックオフ宣言の挨拶がありました。来賓代表として経済産業省デザイン・人間生活システム

政策室 荒木潤一郎様よりJID創立50周年のご祝辞を賜り、(社)日本インダストリアルデザイナー協会理事長 浅香嵩様の乾杯のご発声でトランペットのファンファレーの響きとともに祝宴の幕が開きました。

JID賞2008ビエンナーレ受賞者のご紹介に続き50周年プレイベント企画「Table Design」展実行委員へJID特別業績賞の表彰が行われました。

会場にはトリオによる生演奏、新入会員紹介、50周年記念事業、各委員会のイベント紹介など意気込みの伝わる呼び掛けなど、明るく楽しい記念事業に会員はもとより多くの方の参加の期待がふくらみます。生演奏とともにダンスや歓談、総勢112名大盛況のパーティは、小宮副理事長の閉会挨拶で宴が閉じられました。御多忙の中、大勢の方に御参加を頂き誠に有り難うございました。御礼申し上げます。



本部報告

選考委員会

担当理事：岩倉 榮利
委員長：木村 戦太郎

2008年JID賞ビエンナーレ贈賞式など 選考委員会 委員長 木村 戦太郎

2008年1月11日金曜日の午後5時から、新宿パークタワー6F OZONE ロードサイドスクエア「2008 JID 賞ビエンナーレ展」会場においてJID賞の贈賞式を行なった。会場には、4時過ぎから受賞者をはじめ選考委員やJID会員が集まり始めた。理事会の議論が長引いて気を揉んだが、やがて川上理事長も到着し、5時過ぎから贈賞式を開始した。まず私から2008年JID賞ビエンナーレの意図と概要、応募率が前回を上回ったことや選考プロセスを説明し、理事長挨拶に続いて各賞の表彰を行った。表彰に用

意した賞楯は昨年と同じく清水委員のデザインで、透明アクリルブロックに賞名・受賞者名を表記した美しいもので、受賞者からも好評だった。式の終わりに受賞者を代表して、「錦綾幼稚園」で大賞を受賞した間工作舎の小笠原絵里氏に挨拶をお願いした。個性的な二つの衣裳が素敵な小笠原氏は、受賞の喜びと感謝の言葉を率直に述べられていた。

受賞者の多くは6時半からのNEW YEAR'S PARTYにも参加され、其処此处で会員とのデザイン談義に花が咲いた。

今年のパーティー会場は、内装材のせいか残響がひどくてスピーチが殆ど聞きとれない状態だったが、生バンドが入って盛り上がり、新しい試みと活気が感じられるものであった。

選考委員会では、前回および今回の大賞受賞者を中心メンバーとする「JID賞若手受賞者フォーラム」を企画しているが、これはJID創立50周年記念事業の一環として実施するもので、総会前後の日程を予定している。

九州

KANSAI

CHUBU

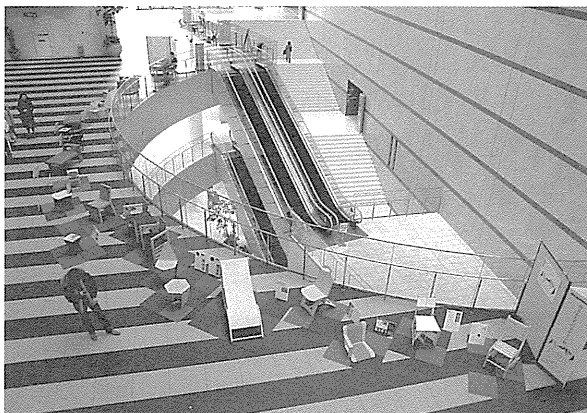
KANTO

JIDNEWSKYUSHU

JID50周年事業の九州事業支部のキックオフイベント
第3回学生ファニチャーデザイン
コンテスト開催!

九州事業支部 支部長 飯田 一博

展示会場「アクロス福岡一階アトリウム」



毎年学生のコンテストを続けようと、今年で3回目になる「座る形」のデザイン展「学生ファニチャーデザインコンテスト2008」が、1月23日～27日まで開催されました。

今回の学生ファニチャーデザインコンテストはJID50周年事業の九州事業支部のキックオフイベントとして、福岡の中心、天神の真ん中にあるアクロス福岡を会場にスタートしました。アトリウムは一日に千人以上の人を通るスペース、多くの人がのぞいて座ってくれました。

テーマは「座る形」ということで、学生の椅子作品が九州産業大学芸術学部から9点(10名)、九州造形短期大学デザイン科より11点(11名)、九州大学芸術工学部より5点(10名)の25点(31名)の作品が、アクロス福岡の一階のアトリウムに展示されました。

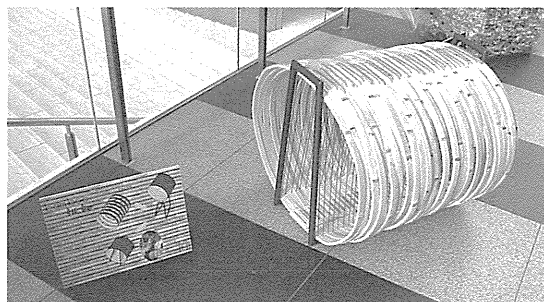
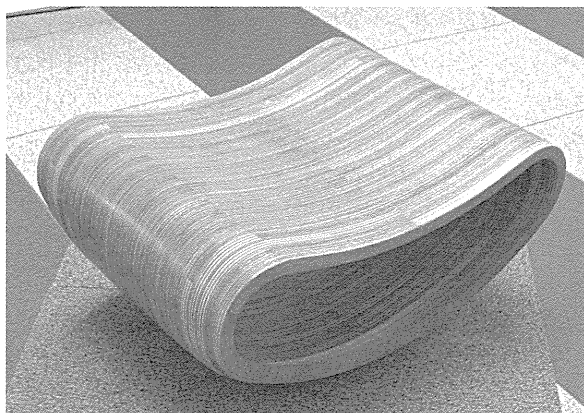
最優秀賞は九州産業大学の寒竹史絵さんの「遊」、審査員全員からの票を取った文句なしの作品で左右にカーブするものは今までも見られたが、手を挟まないようにと前後にもカーブを付けたフォルムが優しく、彫刻的な美しさを生み出している。優秀賞は2点、九州大学の白石大悟さんと黒木英登さんの「bamboo tube」、竹というEco素材をうまく組み合わせて、細い竹の集合が座る人のお尻にフィットできる。大きさもこれ以上大きくすると座る高さにはならないし、小さすぎると竹のしなりが無くなるといった繊細な竹へのチャレンジは、昨年の九州支部大分の例会での「竹のフォーラム」に参加した会員の竹の心を捕らえたようである。

もう一つの優秀賞は九州造形短期大学の天本晋義君の「freedom」。サイドの横格子の脚に座面や棚を付けることで変化できるシステム家具。木地と赤の座面のコントラストが、審査員の目を引いたようである。

奨励賞には3点。九州産業大学の本多・桑崎さんの「花弁」と九州造形短期大学から重藤祐佳さんの「BLOCK CHAIR」と田口孔大君の「Key note」。の合計6つの作品が賞を受賞しました。

賛助会員、協会会員の11名で審査。その後、学生の表彰式と交流と無事終了しました。

最優秀賞 九州産業大学 寒竹史絵さん「遊」



優秀賞 九州造形短期大学 天本晋義君 ↓

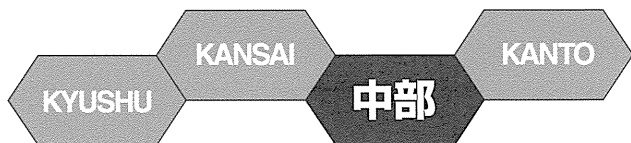
↑ 優秀賞 九州大学 白石・黒木君



50周年記念事業の一つである「室内デザイン学校」は、8月には熊本で日本文化の設えとお行儀を学ぶ日本のEco暮らしというテーマで開催。

11月には福岡で「歴史に座る—近代椅子の源流ウイザーチェア」と太宰府・九州国立博物館見学と円座。

1月には家具の産地大川の「新春展」で企業、デザイナー、学生とのコラボレーション、と計画していく予定です。



JIDNEWSCHUBU

2008年 JID中部+JID-ACTchubu 見学会・新年会 IN内海

中部事業支部 杉崎 章久

2月2日(土)JID 中部では新年会を開催しました。
参加人数は17名。JID-ACT chubuのメンバーも参加
して幅広い年代のデザイン見学会・交流会となりました。
見学コースは下記の通りです。

- 12時00分 内海駅集合
- 12時30分 「海のしょうげつ」見学会
2007年秋OPENした下呂温泉観光ホテルグループの
経営する全室伊勢湾眺望の最新ホテル
建築設計 石井建築設計事務所
(熱海事務所)



ありがとうの心



アトリエ ぜんきゅう

にわ ぜんきゅう

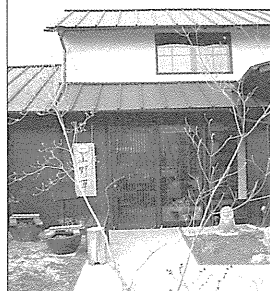
自宅&ギャラリー

〒470-3321 愛知県知多郡南知多町大字内海北向55-3

TEL 0569-62-2967 FAX 0569-62-2968

<http://www.nande.com/zenkyu>

- 14時00分 「アトリエぜんきゅう 心のギャラリー」見学
どこかでよく見るお地蔵さんのイラスト。全国からファン
が来るそうです。
- 15時00分 内海散策・海の温泉「白砂の湯」
海を眺めながら入浴できる日帰り温泉施設
- 16時00分
内海カフェ&ダイニング「山野草」で新年会パーティー
築60年の古民家再生創作料理レストラン
JID-ACT担当、杉崎晃久のデザイン作品
- 19時00分 終了



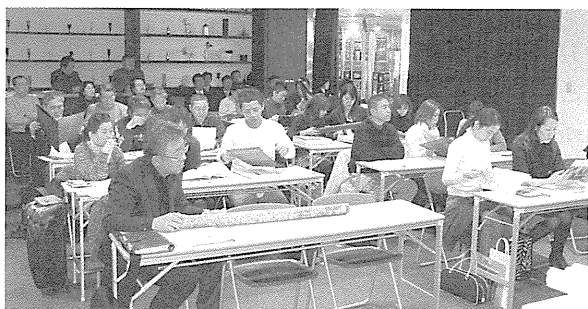
皆さんお疲れ様でした。

お世話になりました「海のしょうげつ」様、「アトリエ
ぜんきゅう」様、「山野草」様、ありがとうございました。

第9回「インテリア関連企業による ニュープロダクツ プレゼンテーション」

関西事業支部 事業委員会 委員長 高瀬 守博

第9回「インテリア関連企業によるニュープロダクツプレゼンテーション」を、2月23日(土)に、改装されましたDAIKO電機様のショールームにて、任意見学の後、午後3時30分から開催しました。



今回は、タイトル(旧・企業による新製品重点商品説明会)を標題のとおり一新し、企画内容・動員体制を見直して実施した結果、プレゼン企業3社9名と、JID+ACT会員12名、企業及び個人デザイナー14名、照明デザインスクール9名を合わせ、総勢で34名参加の催しになりました。以下、発表内容をご紹介します。

【株式会社大商・ガラス事業部】様

大阪府守口市西郷通 2-11-10

TEL 06-6998-0066 FAX 06-6998-4878

<http://www.daisho-osc.co.jp/glasys/>



ガラスホワイト(ガラス装飾飛散防止フィルム)———

「白」をベースにしたオリジナルデザイン、ガラスと光の反射性・透過性を活かし、美しい空間を演出します。

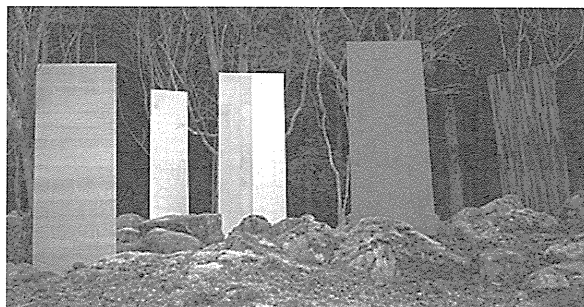
PETフィルムベースで透明性が高くガラスの質感を損なわず、紫外線カット機能で家具や商品などの日焼け(褐色)を抑制します。

【株式会社トミタ・大阪ショップ】様

大阪市北区梅田2-5-25 ハービスPLAZA 4F

TEL 06-6343-7328 FAX 06-6343-7329

<http://www.tominet.co.jp>



Art Wall LEGEND/アートウォールレジェンド———

日本の伝統的な技法が創り出す椿・金銀箔・桐に、その素材の魅力を存分に引き出す新たな技法を加え、1枚1枚丹念に手加工した壁装材です。

Patio5/パティオ5———

北欧の心地よい個性的なデザインと環境を配慮した壁紙コレクションです。安全・環境を考え改定された新ISMに対応する壁紙を収録しました。

【大光電機株式会社】様

大阪府中央区高麗橋 3-2-7

TEL 06-6222-6224 FAX 06-6222-6229

<http://www.lighting-daiko.co.jp>



LEDダウンライト fe:el(フィール)———

一つのダウンライトで広範囲の色温度と光出力をカバーできるfe:el。多彩なシーンや空間に合わせた光の演出を自在に行うことが可能です。また、出力の自動調整により、長寿命化も実現。

fe:elは光による表現性を大きく高める実力があります。

その後の「懇親会」は、今回の多くの参加者で乾杯の後、和・洋・中華の料理と赤・白ワインやビールで会話が弾み、清家支部長をはじめ安藤次期支部長の他、参加者各々のスピーチを交え、和やかなうちにお開きになりました。

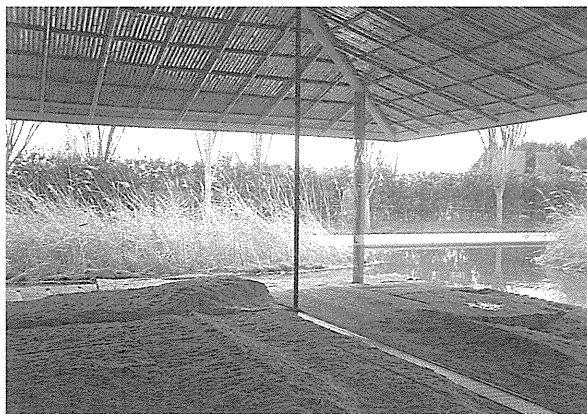
早春の近江を巡る1泊研修会

関西事業支部 研究委員会 委員長 鈴木 儀雄

3月1〜2日、琵琶湖大橋湖東にある佐川美術館に昨秋オープンして話題を集めた「楽吉左衛門館」を中心に近江を巡る研修会を12名の参加で行いました。

見学先(見学順)

- 「遊亀亭」築200年の古民家と隣接の醸造元見学
- ヴォーリズ記念館のほか、元郵便局、学舎群見学
- 佐川美術館
平山郁夫館：シルクロードシリーズ
佐藤忠良館：ブロンズの詩(彫刻)
楽吉左衛門館：茶碗、茶入、水指などの展示と
茶の湯の空間
- 滋賀県立近代美術館「ウィリアム・メレル・ヴォーリズ展」



楽吉左衛門館「守破離」は葦が茂る水底の展示室と茶室、それと水辺のレベルに位置する和室がある。(写真下)茶室「盤陀庵」は水面下の三畳半の小間、和紙の壁に窓から光が茶室に差込む落ち着いた空間。ここから階段を上るとやっと地上の「俯仰軒」に出る。水面すれすれに敷詰められた、荒削りされたジンバブエ産の黒石に続く八畳のたたみの和の空間。水面の葦の茂みのはるか彼方に比良の山を望む自然と一体になった、見事な和の空間を体験しました。

JID-ACT kansai 活動報告

JID-ACT kansai 企画部 部長 三村 章太

今年度の目標を「コンスタントに活動すること」とし、定例会議の他、月に一度のペースで企画を立てました。代表的な活動は下記の通りです。

- JID-ACT kansai 総会：通常報告の他、JID 会員の安藤真吾さんに講演をしていただき好評を得ました。
- 新入会員歓迎会：就職活動のアドバイスやポートフォリオの解説などを織り交ぜ、新入会員にとって有益なものになったと思います。
- 3 団体シンポジウム：「道」というテーマを3 団体の代表が、それぞれの解釈で展開しました。
- JIDA JUNIORとの合同企画：今年度最後の企画として、デザインについての討論会を企画中です。

来年度の課題としては、役員の引継ぎがあります。主力メンバーが就職するので、いかに次期役員に仕事を伝えるのが重要だと考えています。

関西事業支部が企画を担当した
JID創立50周年記念・特別事業

フィンランド・デザインツアー中間報告

関西事業支部 八十 常充

この度のツアーには関東から8名、関西から7名、計15名(内JID会員8名)が参加されます。

日程は7月31日(水)成田 11:00 発と関空 14:00 発と2グループに分かれ、現地で集合します。

翌日の8月1日と2日にフィスカスを訪問し、一昨年夏の新宿 OZONE での「フィスカス・デザイン・ヴィレッジ展」に出品されたカリ・ヴィルタネン(木工)、マルック・コソネン(クラフト)、カリー・ヴィードネース(陶芸)、ルツコ・サカタ(テキスタイル)、カミッラ・モベルグ(ガラス)などのご自宅やアトリエを訪問してJIDとの国際交流を行います。

見学先にはアルヴァー・アールト設計のヴィーラ・コッコネン(ヤルヴェンパー市)を市の特別許可で室内見学(交渉中)、その他、パイミオのサナトリウム、オタニエミのヘルシンキ工科大学、フィンランドシアホールを予定しています。他に、トゥルクやナーンタリではムーミン・ワールドの観光、アイノラ(シベリウスが過ごした家とお墓)や老人福祉施設の見学。ヘルシンキではアート&デザインミュージアム、テンペリアウキオ(岩の教会)エリエル・サーリネン設計のキルコヌミ邸などの見学を計画中です。

KANTOホームページ制作進捗報告と 50周年記念事業サポート

関東事業支部 広報委員会 委員長 石川 尚

関東広報委員会はJID 創立 50 周年の碑とし、昨年 4 月から毎月 1 回、計 11 回の定例会を重ね、「JID 関東支部会員（正・賛助）全員のブランディングUP!」を目標に広報活動を行っています。

今年は JID 50 周年記念事業もスタートし、広報手段のひとつとして今後益々ホームページの重要性が高まります。広報委員会では、会員名簿・個人名覧から各個人（プロフィール＆ワーク）を紹介するページへのリンクページ（個人ミニホームページ）を製作、支部会員に参加して頂ける準備が整いました。

昨年 12 月 7 日には KANTO ホームページ説明会を実施いたしましたところ、参加会員から今後のホームページブラッシュアップにおおいに役立つ積極的な意見を頂戴する事ができました。

また、ホームページにおける個人会員表記は個人情報保護法の問題がございますので、表記確認の為にホームページ掲載事項アンケートを年末から 1 月末まで実施いたしました。

現在、会員の皆様からいただいた掲載事項および掲載画像をもとに個人ミニページのデータ整理・製作を進め、4 月上旬オープンを目指しています。

尚、「JID 50 周年記念事業との連動」につきまして、現在各事業委員会において企画中です。概要が決定し次第、活動予定です。基本的にはホームページ表記によるサポート活動、50 周年記念出版事業サポート活動を中心におく所存です。

新規広報委員会委員のメンバーを募集します。

JID 50 周年記念事業も控え、今後益々ホームページの重要性が高まります。JID 関東ホームページの内容を充実することにより、さらなる JID 関東のブランド、会員＆賛助会員全員のブランドを高めなければなりません。

ブランドを高めるということは、すべて協会・会員＆賛助会員に様々な形で還ってくることであります。割高な会員費も JID 関東ホームページによるブランディングの確立で相殺され、新たなネットワーク・ビジネスチャンスの構築ができると言っても過言ではありません。

当委員会では充実した広報活動を行なうため、新規広報委員の募集をいたしておりますので、何卒ご協力の程よろしく願いいたします。

また、委員会活動へのご意見ご要望もお待ちしておりますので、よろしくお願いいたします。

現在の広報委員会メンバー

HP 構成担当：早乙女明子（副委員長）

HP 取材担当：菅野民子／小林雄二

ライブラリー担当：櫻井良樹

プレス・総務担当：安田恵／中嶋泉

メディカルアメニティ・サポートプロジェクト 説明会報告

関東事業支部 研究委員会

委員長 長岡 貞夫／プロジェクトリーダー 小野 由記子

■ 1 月 22 日 OZONE セミナールームにおいて、研究委員会『メディカルアメニティ・サポートプロジェクト』の説明会を開催しました。

内容は、これまでの経緯、当プロジェクトの概要説明、加えて当プロジェクトを協力体制で進める NPO 法人医療ネットワーク支援センター人見氏、神奈川県看護協会安井氏から医療環境の現状についての話を伺いました。参加者は、JID 会員が 18 名、賛助会員が 5 名、ゲストと合わせて計 26 名。

■長岡氏よりメディカルアメニティ・サポート委員会の趣旨について説明。

一昨年に日本人口に占める老人の割合が2割を超え、今後は医療に20兆・介護に20兆の費用がかかると言われている。しかし、実際に医療施設を利用した時には、あまり快適ではない現状を実感する事が多い。

昨今QLO(クオリティ・オブ・ライフ)という事が注目されているが、医療施設や介護施設だけではなく、介護をする住居環境を良くしていくことが大切だと感じている。医療機器などハードの部分は進歩していても、環境の部分はまだまだ改善すべき点がある。実際の医療の現場に携わる人たちと連携をとりながら、アットホームな環境づくりを目指して行きたい。

■NPO法人医療ネットワーク支援センター人見氏より、組織概要、活動内容について説明。

医療におけるITはどのようにあるべきか、模索した結果、人と人、人と物のつながりをどうするかが大切だという事が分かった。医療・介護を受ける側と提供する側では、提供する側では人材不足、過重労働、経営不振などの問題を抱えており、受ける側には医療不信や不安がある。

この医療と一般患者の間を埋めるコミュニケーションを医療関係者とデザイン関係者が一緒になって模索してゆく事が、今後必要だと考えている。我々はSocial Enterprise(公益性のある企業)として、医療関係者と患者をつなぐ活動を行なっている。

認定個人情報保護団体／がん登録

研究事業／医療安全 啓発事業／健康と食品
安全啓発事業／医療・健康 情報提供／E_learning

■神奈川県看護協会 安井氏より、医療現場の現状について説明。

●今後の療養環境を考える際のキーワードは病床再編／多死の時代／看取りの場はどこか／家族関係の変化など。

●医療サービスと患者及び家族の期待にはギャップがあり、これが原因でおこる院内紛争問題となっている。

課題：人員配置の再検討

医療施設に対する評価基準の作成

医療従事者へのケア(Care for Caregiver)

■小野より、今後の活動計画について説明。

●JIDにはユニバーサルデザインや医療関係の設計・デザインの実績のあるメンバーも多く、これまでにシルバーデザインの研究会での蓄積もある。メディカルアメニティ・サポートプロジェクトではこうした豊富な人材、研究を活用しつつ、その成果を広く世間一般に働きかけてゆく活動を目指します。

●活動目標：社会貢献・人材の育成・研究開発

●プロジェクト案：メディカルリサーチ&スタディ、編集・出版、メディカルリフォーム(ケーススタディ)、講習会・シンポジウム

●2008年6月に第一回研修会開催予定

□現在(2月末時点)でJID全支部から32名の会員と4企業が、メディカルアメニティ・サポートプロジェクトに参加の意向を寄せています。説明会では活発な意見も多く出、参加者のご理解と熱意から、当プロジェクトの可能性と共に運営上の責任を痛感しました。滑らかな出航のための慎重さが必要ですが、同時にこの勢いとタイミングを失わないように配慮したいものです。

●メディカルアメニティ・サポートプロジェクトへの

お問い合わせは下記まで

関東事業支部事務局(本部事務局内) head@jid.or.jp

プロジェクト担当 小野 ono.oik@vesta.ocn.ne.jp

宮本茂紀の「もの思うもの作り」その2

50年目の中国詣

ミネルバ代表・家具モデラー 宮本 茂紀



日本室内設計協会が設立された1958年は、戦後13年を経て、神武景気といわれる大量消費時代の到来時だった。社会全体が活気に満ち、石油化学合成樹脂と機械工業技術の飛躍的な発展は、物作りの考え方を大きく変えた時代でもあった。デザイン界もザヌーソ、イームズ、サーリネン、ケアフォルム、カステリオーニなど、新しいデザイナーたちによって道も切り開かれ、ソ連の人口衛星が地球の周りを回り始めた。あれから50年。自分自身の足跡と重なる思いもあり、1月11日、日本インテリアデザイナー協会の、新年会を兼ねた「設立50周年祝賀会」に出席した。

暫くぶりに懐かしい顔にも出会い、ワインを傾けながら意見交換ができた。「宮本さん暫くだねえ」と差し伸べられる手をしっかり握り「いやー、元気そうで何より」と互いの健康を確かめ合う。「仕事の方はどう」「芳しくないね」と互いの現状を探る会話が交わされる。それは、大変革期である今という時代を生きる、それぞれの思いを確認している会話でもあった。

デザイナーであるA氏は、あちこちの大きな新設ホテルの家具などをデザイン企画し、中国の家具メーカーに発注し、管理業務で忙しく飛び回っていると事だった。日本で生産する三分の一位の値段で、ユーザーに渡す事が出来ると断言していた。又、大手設計事務所を定年退職したBさんは、上海に設計事務所を持ち、東京の大きな建築物件の設計図を中国の人たちに描

いてもらっているとのこと。C氏は、これからの物作りは、中国を中心に動いてゆくのではないかと話していた。決して聞き逃すことのできない現実を踏まえ、皆の話を聞く事に徹した。

けれども希望や夢を表現してくれる人たちであって欲しいと願う、建築家やデザイナーとの会話の中から、ポジティブな明るさを感じることは無かった。楽しく元気の出る酒では無く、ワインがやけに酸っぱく、体も冷える思いがした。

椅子を使う生活文化は、我々日本人の中にも完全に溶け込み、日常生活に無くてはならない道具となった。永い歴史のなかで日本の文化の多くは、中国や朝鮮からもたらされ、その影響を受けたと言われているが、日本の風土の中で咀嚼され、中国や朝鮮文化とは異なる文化として育った。家具や椅子作りの技術も、西欧文化を積極的に取り入れる明治維新を経て、戦後の欧米の生活様式を取り入れる中で、磨き上げられて成長してきたもののひとつだ。それは、日本人の美しさに対するセンスと技術、独自の価値観を背景にした物作り、家具作りとして世界に誇れる位置づけまで成長したと思っている。しかし、その足元が今あやうくなっている。人の暮らしを幸せにするために、物はある。技術はある。それを使う人の喜びを思うから、作る人の喜びがある。そんな当たり前で単純なことが、わからなくなっている。実行することが難しくなっている。確かに今は価値観の大変革期である。だからこそ、次の世代に希望を繋ぐために、建築家やデザイナーは、自分の国の物作りを育てる事を忘れては困る。希望のないところに未来はない。建築家やデザイナーの果たすべき役割は重大で重要な意味を持つと、物作りの現場にいる私は切実に思っている。

カナエデザインバさんと、会津若松商工会議所のコラボブランド「BITOWA」(ビトワ)の家具を製作。フランスのメゾン エ オブジェに出展。



世界のソファづくりに精通する

MINERVA

ミネルバ

日本では数少ないソファの試作開発の会社です。

これまで自動車のシートから、世界の見本市に出展するメーカーの製品など、幅広く製作してきました。

材料選び、加工、仕上げまで、確かな技術と幅広いネットワークであなたの創造をトータルにサポートします。

伝えたい気持ちを持つすべての人のそばに、いつもミネルバがいます。

ミネルバ 電話 03-3785-2337 info@minerva-jpn.co.jp http://www.minerva-jpn.co.jp

事務局からの お知らせ

会員異動

※「会員名簿」該当ページをご訂正ください

◆正会員

会員番号0451 岩倉 榮利 会員名簿・関東p.3
・勤務先、住所 株式会社岩倉榮利造形開発研究所
電話、FAX 〒153-0041 東京都目黒区駒場4-7-2
変更 Tel:03-5465-6900 / Fax:03-5465-0604

会員番号0642 伊藤 公一 会員名簿・関東p.3
・Eメール変更 ito@imax-tokyo.co.jp

会員番号0623 大森 清次郎 会員名簿・関東p.4
・Eメール変更 Seijiro.omori@oaa.co.jp

会員番号1223 早乙女 明子 会員名簿・関東p.6
・勤務先住所 〒106-0031
変更 東京都港区西麻布4-1-1#1112

会員番号1199 高見澤 愛子 会員名簿・関東p.8
・Eメール変更 aa1199@kb3.so-net.ne.jp

会員番号0368 中田 重克 会員名簿・関東p.9
・Eメール変更 touan1990@mist.ocn.ne.jp

会員番号0215 山岸 柁史 会員名簿・関東p.13
・自宅住所、〒960-1444 福島県伊達郡川俣町字根本33
勤務先住所、※平成20年年内連絡先→M.Yアトリエ
電話、FAX 〒389-1105 長野県長野市豊野町豊野1210-12
変更 UL Kurusecra GL Mayapada No5
Nasadua BALI INDONESIA
Tel:620-3617472450 / Fax:620-3617472419

会員番号0295 山本 棟子 会員名簿・関東p.13
・Eメール変更 yamaneko@jid.or.jp

会員番号0415 山永 耕平 会員名簿・関東p.21
・Eメール変更 kyamanaga@jcom.home.ne.jp

◆賛助会員

会員番号3164 有限会社エーディコア・デバイス 会員名簿・賛助p.26

・社名変更 株式会社エーディコア・デバイス

会員番号3182 株式会社川島織物セルコン 会員名簿・賛助p.26
・住所、担当者、〒135-0061 東京都江東区豊洲5-6-15
電話、FAX、N.B.F豊洲ガーデンフロント 6F
変更 広報 藤岡 義也
Tel:03-5144-3892 / Fax:03-5144-3893

会員番号3021 株式会社岡村製作所 会員名簿・賛助p.26
・住所、電話、〒107-0052 東京都港区赤坂2-14-27
FAX変更 国際新赤坂ビル東館
Tel:03-6743-4519 / Fax:03-6743-4520

会員番号3080 東陶機器株式会社 会員名簿・賛助p.27
・社名変更 TOTO株式会社

会員番号3178 サイレントグリス株式会社 会員名簿・賛助p.27

・Eメール、 akira.toyoda@silentgliss.co.jp
担当者役職変更 豊田 彰 常務取締役→代表取締役社長

会員番号3130 株式会社大和金属製作所 会員名簿・賛助p.28

・担当者変更 営業部次長 杉村 幸一

新会員 紹介 正会員

- ①会員名 ②会員番号(支部) ③推薦者
④勤務先・事務所 ⑤自宅



①榎山 和彦
かしやま かずひこ

- ②1281 (関西事業支部)
③清家 淳一・安藤 眞吾

④キウイショップ

〒542-0083 大阪府大阪市中央区東心斎橋2-8-12
Tel / Fax: 06-6211-8021

E-mail: kiwishop@cronos.ocn.ne.jp

⑤〒614-8364 京都府八幡市男山松里5-3

Tel / Fax: 075-982-7830

E-mail: kiwishop@ceres.ocn.ne.jp



①古市 伸子
ふるいち のぶこ

- ②1282 (関西事業支部)
③清家 淳一・安藤 眞吾

④株式会社サーティスリー

〒560-0045 大阪府豊中市刀根山3-1-30

Tel: 06-6853-4005 / Fax: 06-6853-3135

E-mail: NOBUKO.FURUICHI@nifty.com

⑤〒562-0005 大阪府箕面市新稲3-10-6

Tel / Fax: 072-721-0238

JID news

企画・編集：本部情報委員会

JID News 担当理事 清家淳一

JID News 委員長 八十常充

// 関東事業支部 佐藤健一

// 中部事業支部 小林修

// 関西事業支部 塚口眞佐子

// 九州事業支部 下田隆

——あとかき——

今年の JID は 1 月 11 日のニューイヤー & JID50th キックオフ・パーティで幕を開きました。

「展覧会」「出版」「広報」「D 学校」「式典」の各委員会から送られてくる議事録から活発な活動が感じられて、委員皆様のご努力に感謝いたします。

各委員会が企画を進める記念事業の中で、デザイン学校委員会の「円座」は年間を通しロングランでの取り組み、日頃交流の出来ていない地域で会員が集い、地域の特性を活かしてのデザイン談義は大変魅力的で素晴らしい企画として期待されています。

4 月 4～5 日には、第 1 弾「円座 in 四国」が行われます。JID の企画と地元会員のコネクションを最大限に活用できる内容も魅力的です。

一方、行きたくてもいろいろな事情で参加出来ない会員も多く居られるので「JID News」では出来るだけ多くの情報をお伝えしたいと考えています。

八十 常充

□ 次号スケジュール

- ・ 編集(企画)会議 5 月 6 日
- ・ エントリー締切日 5 月 13 日
- ・ 原稿締切日 5 月末日(厳守お願いします)
- ・ 編集(校正)会議 6 月 17 日
- ・ 発行日 6 月末日

* member's SALON はみなさんからの投稿をお待ちしています。デザイン情報、ご意見、エッセイや地域での情報などをお寄せ下さい。

No.239

発行日：平成20年3月31日

編集デザイン：西尾直事務所
印刷：株式会社岡本印刷所